

科目名	臨床心理学特論Ⅱ [院]					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉						
授業形態	講義	開講期間	後期	配当年次	1, 2	授業番号	6005

●授業のテーマ

臨床心理地域援助（コミュニティ心理学）、臨床心理調査研究、倫理問題について概観する

●到達目標

臨床心理学特論Ⅱでは、臨床心理学特論Ⅰで学んだ知識を精通していることが前提となる。この講義では、臨床心理地域援助の礎となっているコミュニティ心理学の基礎知識と基礎理論を理解することができる。また、臨床心理調査研究について事例等を検討し、調査研究ができるようになる。さらに、倫理問題に配慮できるよになる。

●学習内容(授業概要)

本講義では、実践学としての臨床心理学の学問領域を概観し、臨床心理士としての専門性を高める。

臨床心理学の実践者である臨床心理士の専門的業務は、臨床心理検査、臨床心理面接、臨床心理地域援助、臨床心理調査・研究、倫理的配慮などがあげられる。

本講義では、特に臨床心理地域援助の基礎となっているコミュニティ心理学について学ぶこととする。また、調査・研究のあり方を習得する。さらに、倫理問題について検討し、倫理問題に配慮できるよう高度な臨床心理専門職になる。

●学習内容(授業計画)

1. オリエンテーション、臨床心理学特論Ⅱとは
2. 臨床心理学におけるコミュニティ・アプローチとは
3. 臨床心理学とコミュニティ心理学
4. コミュニティ心理学の歴史
5. コミュニティ心理学のエッセンス
6. コミュニティ心理学における研究法
7. 質的研究法と量的研究法
8. プログラム評価
9. 臨床実践におけるコミュニティ・アプローチの実際
10. ミクロからマクロへの支援とコミュニティおよび社会の改革
11. 臨床心理調査・研究
12. 調査・研究（課題発表：a, b, c, d, e5名）
13. 調査・研究（課題発表：f, g, h, i, j5名）
14. 調査・研究（課題発表：k, l, m, n, o5名）
15. 倫理問題

●準備学習・事後学習の内容

準備学習：次回実施する箇所についてテキストを読む。また、それに関連した文献研究を実施する。

事後学習：講義で学んだ内容について、レポート用紙などにまとまる

●成績評価方法・基準

試験 80%、レポート 20%を基準として評価する。

●テキスト（必携）

高島克子 著：『臨床心理学をまなぶ⑤ コミュニティ・アプローチ』東京大学出版会 2011年.

●参考文献／その他

適宜紹介する。

●履修上の注意

学生参加型のグループ討議や課題発表を実施するので、学生の皆さんの積極的な参加を望む。